

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2020年5月分)

2020年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH, 新型コロナウイルス感染防止対策措置を順次緩和(1~31日)

●BH中央選管, 本年統一地方選挙の投票日延期を決定(7, 23日)

●ルチッチBH人権・難民相の就任(15日)

(2) エンティティ, 特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH検察庁, 中国製人工呼吸器の不正調達疑惑でノバリッチBH連邦首相を逮捕(28, 31日)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●ドディックSNSD党首, コシャラツBH対外貿易・経済関係相を罷免する意向を発言(5日)

2. 外政

(1) 多国間, 国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●インツコ上級代表, 第57回国連安保理報告を実施(6日)

●EU・西バルカン諸国首脳会合(6日)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●IMF緊急貸付資金の利用に大きな遅れ(31日)

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

(3) 民間セクター

●S&P, BHの信用格付けを“B”で据え置き(26日)

(注: 本月報は, 当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH, 新型コロナウイルス感染防止対策措置を順次緩和(1～31日)

BH国内における新型コロナウイルス感染拡大傾向の鎮静化を受け、BH国内の各機関が感染防止対策措置を順次緩和。18日、テゲルティヤBH閣僚評議会議長(注:首相)は外国人に対するBH入国禁止措置を6月1日付で一部解除する方針を発表した。

●BH中央選管、本年統一地方選挙の投票日延期を決定(7, 23日)

23日、BH中央選挙管理委員会(CEC)は、BH閣僚評議会(注:中央政府)による選挙実施予算の確保が完了していないことを理由として、2020年統一地方選挙の投票日を当初の予定である10月4日(日)から11月15日(日)へ延期する旨決定。CECは5月7日に統一地方選挙を一度公示するとともに、閣僚評議会に対し早期の予算確保を要請していたものの、選挙法上の予算確保期限である5月22日までに閣僚評議会は予算成立に合意できていなかった。

●ルチッチBH人権・難民相の就任(15日)

BH議会下院が閣僚評議会によるルチッチ新BH人権・難民大臣(セルビア系与党第二党の民主人民同盟(DNS)所属)の任命を連立与党の賛成多数で承認し、同日、同大臣が就任。人権・難民大臣の就任をめぐっては、昨年12月の新政権発足以降も、SDA(ボシュニャク系与党第一党)とSNSD(セルビア系与党第一党)の連立与党間の対立などにより手続きが停滞し、この日まで空席となっていた。

●「ブライブルクの虐殺」の追悼ミサの開催(16日)

ボスニア・カトリック教会の主催により、第2次世界大戦末期に「クロアチア独立国」(ナチス傀儡政権)の関係者がチトー率いる共産主義パルチザン勢力によってオーストリア南部のブライブルクで虐殺されたとされる「ブライブルクの虐殺」の追悼ミサが催行。同ミサの開催をめぐっては、クロアチア系を除く国内各民族がナチス礼賛にあたるとして中止を求めている他、当日には「BH反ファシスト・人民解放戦争退役軍人同盟」が大規模な反対デモ行進をサラエボ市内で開催した。

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●新型コロナウイルス対策法が成立(4日)

BH連邦議会上院が新型コロナウイルス対策措置法を可決・成立。同法は、新型コロナウイルスの影響により業績が悪化したBH連邦内企業に対する支援策などをまとめたもので、4月23日にBH連邦議会下院が可決し、同上院に送付していた。

●BH検察庁、中国製人工呼吸器の不正調達疑惑でノバリッチBH連邦首相を逮捕(28, 31日)

28日、BH検察庁は、BH連邦政府が新型コロナウイルス対策として購入した中国製人工呼吸器の公共調達プロセスで資金の横流しおよび資金洗浄などが行われた疑いがあるとして、この調達に関わったノバリッチBH連邦首相(SDA所属)等3名を逮捕。31日、検察による30日の勾留延長申請をBH裁判所が却下したことを受け、同首相は釈放された。今後、検察が同首相を起訴するか否かが注目さ

れている。

●BH連邦政府、非常事態宣言を解除(29日)

29日、BH連邦政府は、新型コロナウイルス感染拡大の鎮静化を受け、3月16日に導入していた非常事態宣言を解除。また、感染拡大防止措置の緩和に伴い、既に営業を再開していたレストランなどに続き、28日にはBH連邦内各地の大規模商業施設も営業を再開した。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●RS政府、上級代表安保理報告に対する批判文書を発表(4日)

インツコ上級代表による第57回国連安保理報告にあわせ、RS政府は同報告を批判する内容の独自文書を発表するとともに、国連事務総長にこれを送付。この文書の中でRS政府は、デイトン和平合意の原則に反して国家中央集権化を一方的に進めようとしているとしてボシュニャク系政治家を非難。また、同民族に政治的に肩入れしているとして国際社会の対応を批判し、デイトン合意の履行監督にあたる上級代表事務所(OHR)の早期閉鎖を要求している。

●ドディックSNSD党首、コシヤラツBH対外貿易・経済関係相を罷免する意向を発言(5日)

コシヤラツBH対外貿易・経済関係相(SNSD所属)が、新型コロナウイルス感染防止対策措置で禁じられた集会(注:営業禁止中のレストランでのパーティー)に参加していたことが発覚。これを受け、ドディック大統領評議会セルビア系メンバー(SNSD党首)は、感染防止対策措置違反は許されないと述べ、新型コロナウイルスの事態収束後に党として同大臣を罷

免する意向を示した。

●RS特別非常事態宣言の解除(21日)

RS国民議会は、同エンティティ内での新型コロナウイルス感染拡大の鎮静化を受け、3月28日に可決・発効していたRS特別非常事態宣言の解除を決定した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●EU加盟に向けた14項目の課題に関する政治作業部会、初回会合を開催(4日)

EU加盟に向けた14項目の課題に関する政治作業部会が初回会合を開催。同部会は、BHのEU加盟候補国の地位獲得に必要な国内改革に向けた政治対話を促進する方針を確認。他方、チョービッチBH議会上院議長(HDZ党首)等一部のクロアチア系委員は、ボシュニャク系の票で当選したコムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバーが委員を務めることに反対し、会合を欠席した。

●インツコ上級代表、第57回国連安保理報告を実施(6日)

インツコ上級代表がデイトン和平合意の履行状況などに関する第57回国連安保理報告を実施。インツコ上級代表は、BH国内の新型コロナウイルス対応を評価する一方で、民族間対立に起因する国内政治の停滞が続いていることや、2018年総選挙の結果を受けた新政権の発足が、BH連邦ならびに同連邦内のヘルツェゴビナ＝ネレトバ・カントンおよび第10カントンで依然として完了していないことなどに付き懸念を述べた。

●EU・西バルカン諸国首脳会合(6日)

EU・西バルカン諸国首脳会合がビデオ会議方式で開催され、BHからジャフェロビッチ大統領評議会議長(元首、ボシュニャク系)が出席(注:同会合は当初クロアチア・ザグレブで開催予定であったが、新型コロナウイルスを受けビデオ会議に変更となった。)。ジャフェロビッチ議長は、新型コロナウイルス対策支援で対BH最大ドナーであるEUとの強い絆を強調するとともに、BHの早期のEU加盟候補国の地位獲得への期待を述べた。

●西バルカン諸国外相電話会談(19日)

西バルカン地域諸国外相がEU高官を含めた電話会合を実施し、BHからトゥルコビッチ外相が出席。各国外相は、新型コロナウイルス対策および西バルカン地域諸国のEU加盟プロセスにつき話し合った。トゥルコビッチ外相は会談で、新型コロナウイルス対策でEUが西バルカン地域での存在感を高めていることを歓迎しつつ、EUとの一層の協力深化に対する期待を述べた。

(2)二国間関係

●BH・中国外相電話会談(14日)

トゥルコビッチBH外相が王毅中国外相と電話会談。両外相はBHおよび中国における新型コロナウイルス対策につき意見交換を行ったほか、新型コロナウイルス問題収束後の早期の経済回復に向け協力していく方針で一致した。このほか両外相は、早期の両国外相の相互訪問の実現に向け調整する方針を確認した。

●BH・コソボ首脳電話会談(22日)

22日、ジャフェロビッチBH大統領評議会議

長(ボシュニャク系)がクルティ・コソボ首相と電話会談。両首脳は、BHからの輸入品に対する100%の関税をコソボ政府が先に撤回したことを受け、両国経済関係の促進を目指す方針で一致。他方、23日、ドディック大統領評議会セルビア系メンバーは、大統領評議会への事前連絡なく同会談を行ったことは職権の乱用にあたると述べ、ジャフェロビッチ議長を非難した。

●米国、ズキッチ元SDA幹事長を入国禁止対象者リストに追加(28日)

ポンペオ米国国務長官は、BH国内で複数の汚職事件に関与し、同国の法の支配を脅かしたとして、ズキッチ元SDA幹事長(元BH連邦議会下院議員)を米国への入国禁止対象者リストに追加した旨を発表。なお、ズキッチ元幹事長は2017年に贈賄の容疑でサラエボ・カントン検察庁により起訴されており、公判は現在も継続中である。

3. 経済

(1)経済政策・公共事業

●IMF緊急貸付資金の利用に大きな遅れ(31日)

国際通貨基金(IMF)が4月に実施した3.3億ユーロの対BH緊急貸付資金の利用に大きな遅れが発生。閣僚評議会は、同資金の配分方法に関するボシュニャク系とクロアチア系の対立により31日までに必要な決定を下すことができず、同資金はBH中央銀行にて凍結された状態となっている。(注:6月2日、閣僚評議会が緊急貸付金の利用につき合意したことを受け、同資金は今後両エンティティに配分される見通し。)

(2) 経済協力(新型コロナウイルス対策支援を含む)

●米国, BHに新型コロナウイルス対策で追加支援(21日)

米国は, 米国国際開発庁(USAID)を通じてBHに対し新型コロナウイルス対策支援として100万米ドルの追加支援を実施する方針を決定。同資金は今後, 新型コロナウイルスの検査能力の向上などを目的とする設備体制の強化に充てられる予定である。

●EU, BHに新型コロナウイルス対策支援(22日)

新型コロナウイルス対策支援として, EUがBHに対して人工呼吸器10台を始めとする総額80万ユーロ相当の医療機器を供与。新型コロナウイルス問題の発生以降, EUはBHに対し大規模な医療機器供与および資金援助を実施しており, 3月には8, 100万ユーロ規模の資金援助の実施を決定している。

●UAE, BHに新型コロナウイルス対策支援(27日)

アラブ首長国連邦(UAE)がBHに対し新型コロナウイルス対策支援を実施。この日, サラエボ国際空港にUAEの支援による人工呼吸器40台および新型コロナウイルスの検査キット10万個などが到着した。

(3) 民間セクター

●S&P, BHの信用格付けを“B”で据え置き(26日)

国際的な信用格付け会社である米国のS&P(Standard and Poor's)は, 新型コロナウイルス問題を受け実施した緊急の信用格付の中で, BHに対する評価を前回3月の報告と同

じ“B”で据え置き。一方で, 今後の見通しについては, 「前向き」とした前回の格付けから「安定的」に評価を下げ, BHの信用格付けの向上が今後鈍化するとの見通しを示した。